企画提案評価基準

別表

・評価は項目毎にS、A、B、Cの4段階(⑦～⑧の項目はA、B、Cの3段階)とし、各項目の配点と評価に基づき点数を計算する。満点は100点とする。

・⑦～⑧の項目の評価は、同種業務を有する場合:A、類似業務を有する場合:B、どちらも有しない場合:Cとする。

・企画提案書が、公募要領5(3)《作成上の注意点》において指定した方法以外の方法で作成し提出された場合、減点する。

<評価表>

評価項目		提案内容の評価基準		配点	評価
実施方針・実施体制	業務の実施方針	①	・本業務の目的を的確に理解し、公募要領で定めた業務内容を十分に踏まえた上で提案され、実施手順や業務工程の内容に実現性があるか。 ・ワーキングチームと積極的に調整を図り、事業に取り組もうとする姿勢が示されているか。	20	10
	業務の実施体制	②	・本業務を円滑かつ確実に履行できる人員が確保され、発注者との協議や要請に迅速かつ柔軟に対応できる体制となっており、責任の所在が示されているか。		10
提案内容	(1) 基本構想の作成	③	・ワーキングチームとの調整方針、基本構想検討会議(仮称)の開催に向けた取り組み方針が示され、作成する基本構想はウォークアブル空間の実現を期待できるものとなっているか。 ・全国のウォークアブルなまちづくりの事例を踏まえ、文翔館周辺エリアの価値を向上させるために、どのような空間整備を行うべきかについての検討の視点や提案力は優れたものとなっているか。	70	30
	(2) 社会実験Ⅰ(バス迂回運行)	④	・社会実験の目的を理解し、実施に向けた事前の準備が適切に検討され、特にバス利用者に対する配慮事項が提案されているか。 ・社会実験期間中の緊急対応が必要な案件に対し、責任をもって迅速に対処できる体制が構築されているか。		10
	(3) 社会実験Ⅱ(文翔館周辺の空間活用)	⑤	・社会実験の目的を理解し、実施に向けた関係機関との協議や事前準備が適切に検討されているか。 ・ウォークアブル空間の実現に向けた効果的な実験の実施方法が検討され、滞在空間の適切な管理方法、体制が提案されているか。		10
	(4) 基本構想の合意形成に向けた取り組み	⑥	本事業のPRや住民との合意形成のために、効果的なシンポジウムやVR体験会の内容が提案されているか。		20
業務実績	管理技術者の業務実績	⑦	管理技術者が本業務と同種の業務実績又は類似の業務実績を有しているか。	10	5
	会社の業務実績	⑧	本業務と同種の業務実績又は類似の業務実績を有しているか。		5
合計(100点満点)					